

# データ入稿仕様書

制作局



Vol. 4

# 目次

## 入稿編

紙面データ入稿のワークフロー（2ページ）

## 制作編

制作環境（3ページ）

制作環境の使用フォント（3ページ）

データの出稿について（3ページ）

紙面データ制作の注意点（4～5ページ）

《共通注意事項》（4ページ）

《要注意事項》（5ページ）

EPSデータ制作の注意点（6ページ）

EPS紙面サイズ（7ページ）

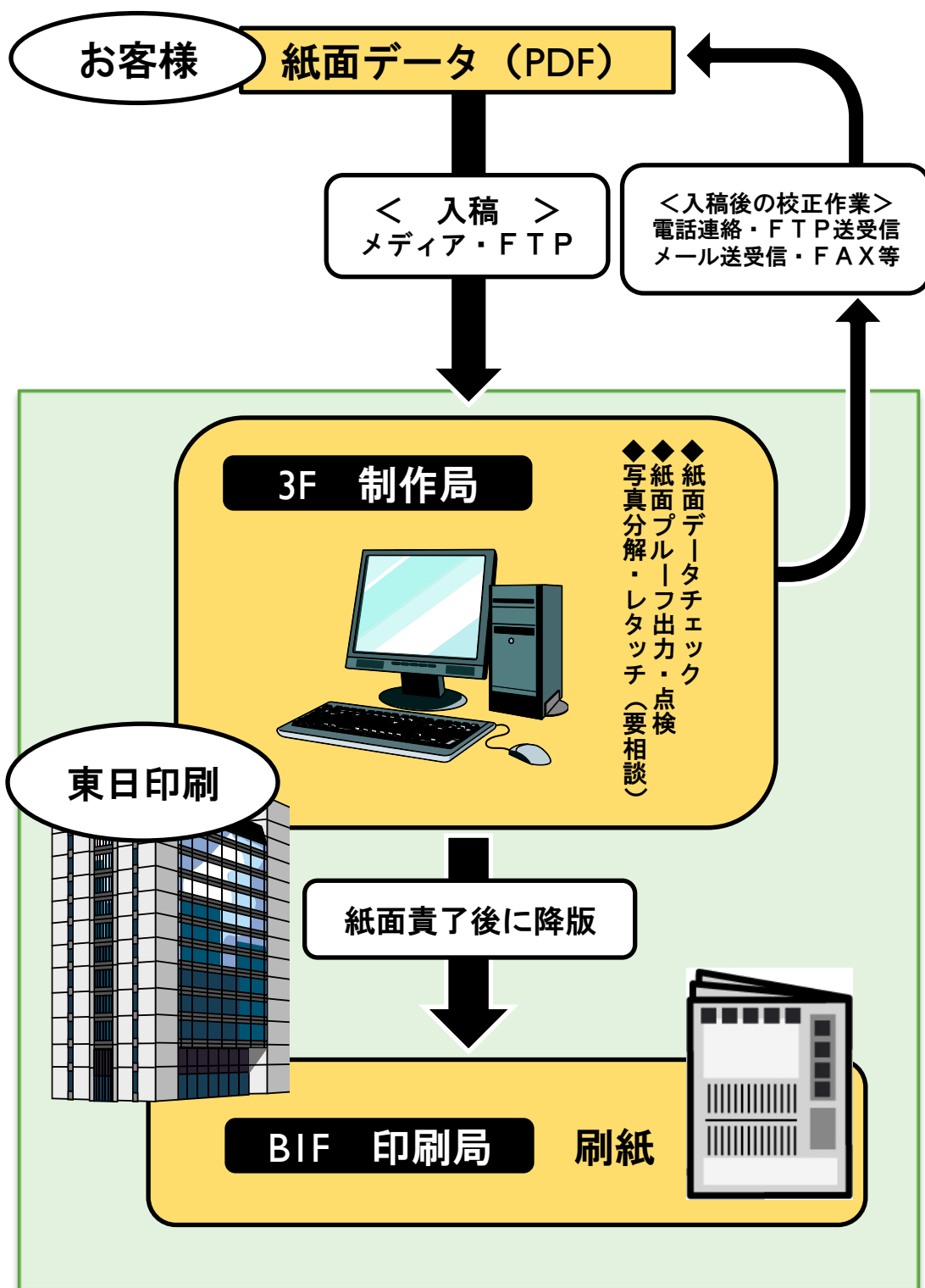
タブロイド・ブランケット 組版サイズ（8～9ページ）

面付け配置について（10ページ）

面付け台紙サイズ（10～11ページ）

PDFデータ書き出し注意点（12～13ページ）

# 紙面データ入稿のワークフロー



## 制作環境

弊社の制作環境は下記のようになります。お客様の作業環境がWindowsかMacintoshか、使用ソフトのバージョン等を事前にお知らせ下さい。

Mac		Windows	
OS	MacOS <10.8.5～10.14.3>	OS	Windows 7 professional
PhotoShop	CS6・CC2019	PhotoShop	CS5
Illustrator	CS6・CC2019	Illustrator	CS5
Indesign	CS6・ CC2019 (14.0.1)	Indesign	CS5.5
AcrobatPro	XI (11)	AcrobatPro	10.1.6

## 制作環境の使用フォント

モリサワPASSPORTPro 6に対応しております

## データの出稿について

- PDF紙面データかEPS紙面データをお願いします。

※ウイルスチェック済の物を出稿してください。

①メディア：USB、CD-R

②FTP送信

③メール送信：宅ふぁいる等のファイル転送サービスでアップ

ロードしたアドレス（URL）を、メール本文に貼付して下さい。

※紙面データファイルのメール貼付処理は、容量制限の関係で推奨しません。

- ファイル名について

掲載付日・面数・拡張子を付けて下さい。

(例) 4月23日の1面なら → 0423\_01.pdf

↑  
アンダーバー

- 出力見本についてプリントメニューの詳細で、オーバープリントをシミュレート出力したものを、100%原寸で出力した見本をつけて下さい

- 出稿は必要なデータのみをお願いします。（不要なデータは入れないで下さい）

EPS紙面であればEPSのみ。PDF紙面であればPDFのみ。

# 紙面データ制作の注意点

## 《共通注意事項》

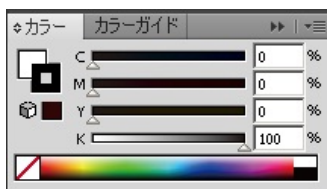
### ●極細罫線に100%以外の色を指定する時は下の現象が起きる可能性があります

【線の最小値】 Indesign、Illustratorともに0.25pt以上を推奨。

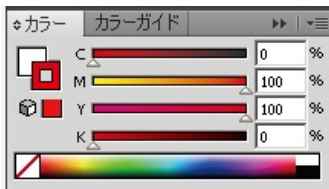
【線の着色による現象】

- ・単色（ベタ）野の場合 → 目立ちにくい
- ・CMYKの内、2色以上のベタ色で作成された場合 → 版ズレが目立ちやすい
- ・色が100%以下（ベタ以外）の場合 → 最終出力で網点化けされ点の間隔が少しずつ空いたり、角度によってかすれたり飛んだりギザギザに見えるおそれがあります。

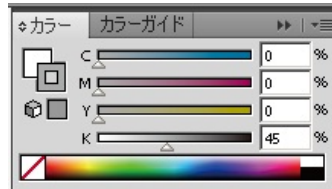
### 単色ベタ



### 2色以上のベタ



### ベタ以外（アミ）



### ●サイズの小さい文字を使用しないで下さい

なるべく6Q以下は使用しない。インクのにじみで読めなくなる場合があります。

### ●4色BKを使用しないで下さい<文字、QRコード等>

わずかな版ズレで読めない、読み取りにくい等の原因となります。

### ●4色の総インキ量に注意して下さい

推奨値：C60%、M50%、Y50%、K90% → 総インキ量250%

総インキ量が上記の値を越えると裏写り・裏抜けの原因となります。

### ●カラースペースはCMYKにして下さい

カラースペースがRGBの場合、CMYKへ不適切な分版出力がされ、印刷イメージと変わる恐れがあります。

### ●特色について

特色は使用不可です。特色が使用されているとCMYKによる擬似色で分版出力されるのでイメージと変わる場合があります。

## 《注意事項》

- 当社の出力システム（RIP）はK100%のオブジェクトは無条件で全てオーバープリントになります。ヌキ処理したい場合はK99%にして下さい。



100%の場合



99%の場合

上図のようにK100%だとノセとして印刷されてしまいます

- 白いオブジェクトにはオーバープリント設定をしないで下さい。  
また、オーバープリント不要箇所に設定をしないことを推奨します。



オーバープリント  
の設定なし



オーバープリントの設定あり  
(文字が消えてしまう)

白のオーバープリントは印刷する上で問題が生じます。  
白（地色、紙色）＝“色を着色していない”という設定になる  
白にオーバープリント設定がされていると、“下の版は抜かない”ということになります。

- TrueTypeフォントは、原則使用しないで下さい。

※拡張子が「.ttf」「.ttc」のフォントは、障害の原因になります。

TrueTypeフォントは、pdfに埋め込みできないケースや、RIP側で解析できない等の原因となります。使用する際は、アウトライン化することで障害を防ぎます。

- ExcelやPowerPointなど、Office系アプリで作成した表やグラフは、**画像化を推奨します。**

TrueTypeのフォントが使用されていたり、グラデーション等がRIP側で解析できないケースが多発しています。素材を画像化することで障害を防ぎます。

- パスの点が多い、複雑な形状のパスが多いものは、**画像化を推奨します。**

透明効果、グラデーション、スウォッチのパターンを描写した時、横線・縦線・斜線・同心円などを使用した複雑なパスは、RIP側で解析できないケースがあります。素材を画像化することで障害を防ぎます。

# EPSデータ制作の注意点

## 【ドキュメント】

- ドキュメント設定はCMYKモードにしてください（RGB不可）

## 【フォント】

- フォントはアウトライン化して下さい

## 【オブジェクト】

- オブジェクトを作成する時はカラーパレットをCMYKかグレースケールモードにして作成して下さい

- 不要なオブジェクト（トンボや孤立点）他はすべて削除して下さい。

紙面サイズの領域外に画像やオブジェクトが紙面領域（ブランケット、タブロイド）からはみ出た場合はマスク処理をして下さい。

## ●特色について

特色は使用不可です。特色が使用されているとCMYKによる擬似色で分版出力されるのでイメージと変わる場合があります。

## 【画像】

- 画像にICCプロファイルを埋め込まないで下さい

photoshop6以降、EPS保存時に「カラープロファイルの埋め込み」をオフにしてください。画像自体に設定がされていても、弊社の環境での出力時に無条件で解除されます。

## ●画像種別

【多値】カラーデータ（画像）はCMYK、モノクロはグレースケール

【2値】モノクロ2階調

- 画像解像度 推奨：多値 170-350dpi  
2値 1200dpi

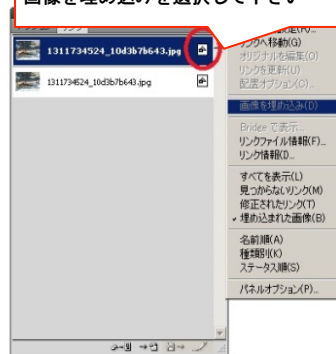
解像度が低すぎる場合は、良い印刷にならない場合があります。

解像度が高すぎる場合、データが重くなり作業に支障をきたします。

## ●配置した画像は埋め込んでください

リンクパレットにおいて埋め込むとアイコンが右に表示されます。埋め込みなしでの配置は、作業上においてはパフォーマンス上容量が軽くなるので作業がしやすいですが、ファイルを移動させるときは必ずリンク画像と一緒に移動しなければなりません。外においてある本体がないと、Illustrator上に何も表示されなくなります。リンク画像の場所を変えてしまってもリンク切れとなり正しく表示されないので必ず画像を埋め込んで下さい。

マークが無い時は対象画像を選択し  
画像を埋め込みを選択して下さい



## ●IllustratorのEPS保存について

### Illustrator保存オプション

プレビュー：「TIFF」「Macintosh 8bitカラー」

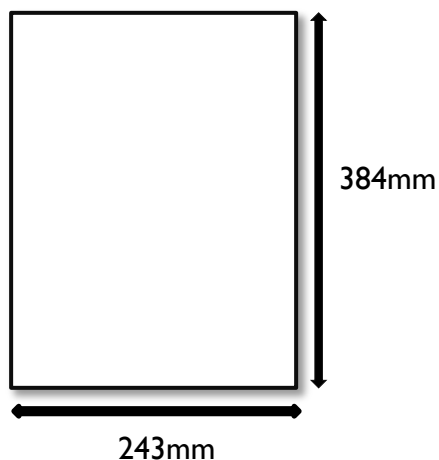
透明のプリセット：「高解像度」

PostScript：レベル2を推奨

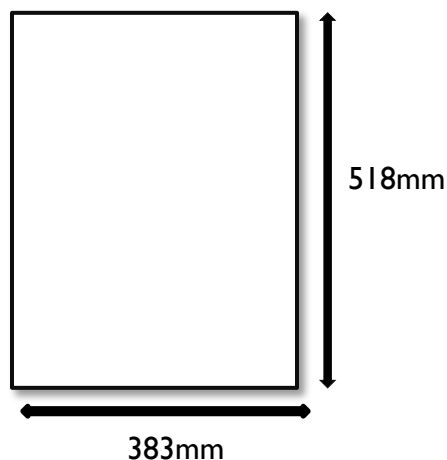
# EPS紙面サイズ

余白を含まない紙面サイズは以下の寸法になります。  
(欄外を含む新聞原寸の寸法になります)

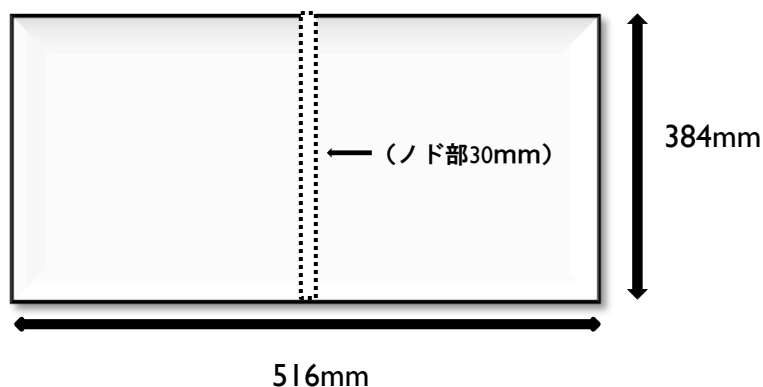
## ◆タブロイド単面



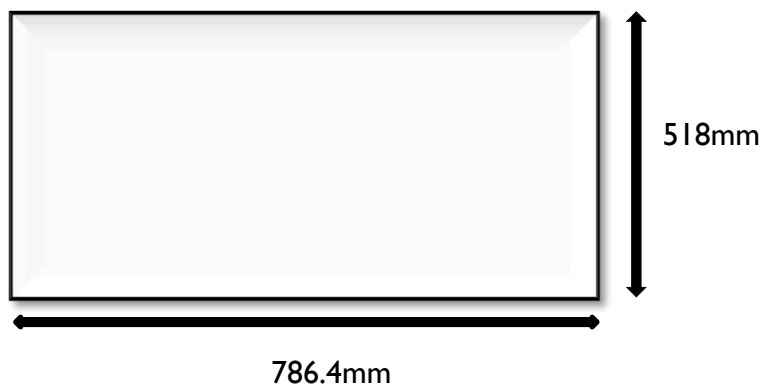
## ◆ブランケット単面



## ◆タブロイド見開き（ノド30mm想定/ノド部にも可）



## ◆ブランケット2連版（見開き、ノド含め）





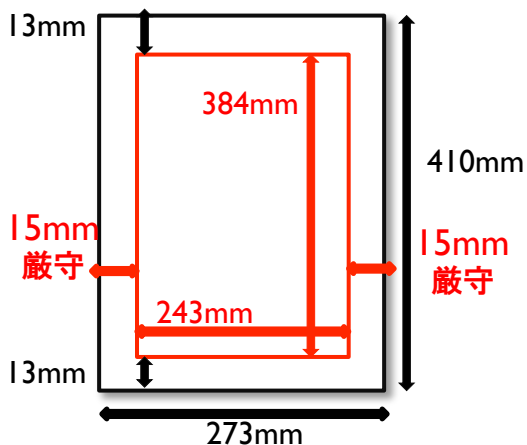
# タブロイド・ブランケット 組版サイズ

Illustrator、InDesignなどで紙面作成する場合のサイズは下記になります  
(赤枠が紙面サイズになります)。

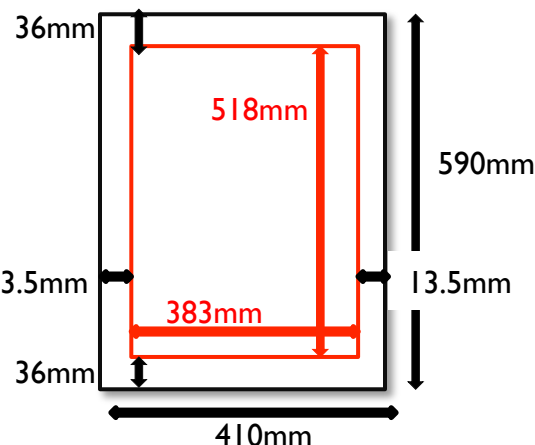
黒枠:Illustrator→アートボード InDesign→ドキュメント設定

赤枠:ガイドやマージン・段組み等の枠(欄外を含む新聞原寸)

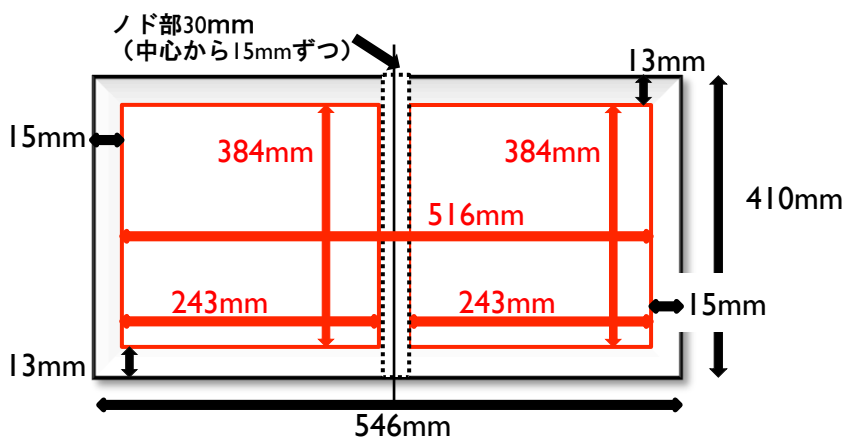
## ◆タブロイド単面



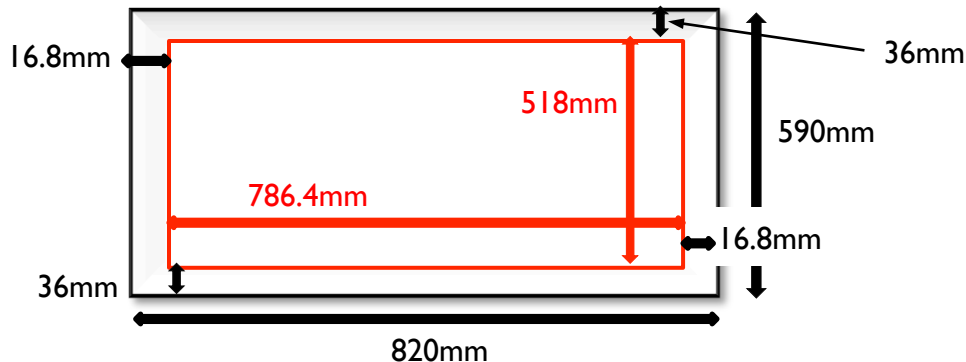
## ◆ブランケット単面



## ◆タブロイド見開き(ノド30mm部もレイアウト可)



## ◆ブランケット2連版(見開き、ノド含め)



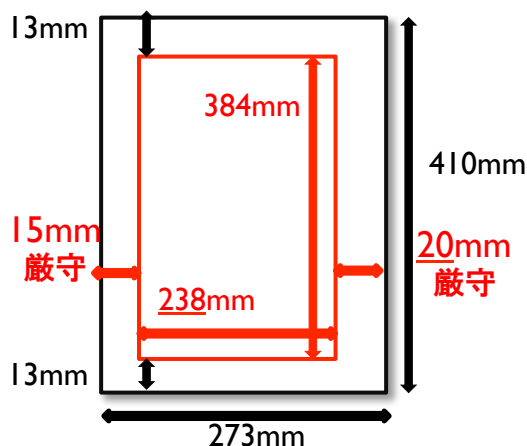
# タブロイド・ブランケット 組版サイズ

※タブロイド版の断裁は下記でお願いします(赤枠の紙面サイズが左右小さく、ノドが広がります)

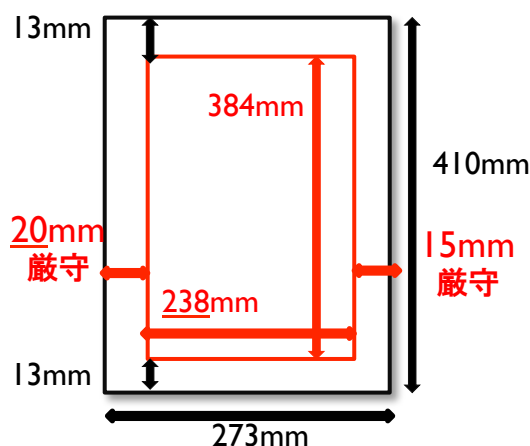
黒枠:Illustrator→アートボード InDesign→ドキュメント設定

赤枠:ガイドやマージン・段組み等の枠(欄外を含む新聞原寸)

◆断裁タブロイド単面 左



◆断裁タブロイド単面 右

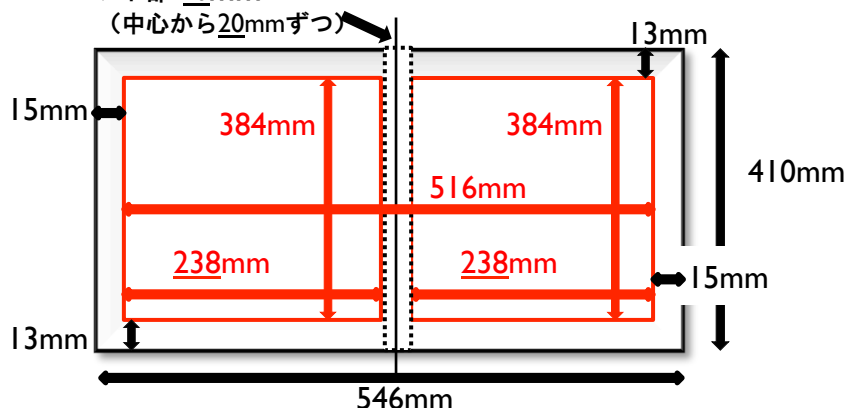


◆断裁タブロイド見開き

※ノド40mmはレイアウト不可

ノド部 40mm

(中心から20mmずつ)



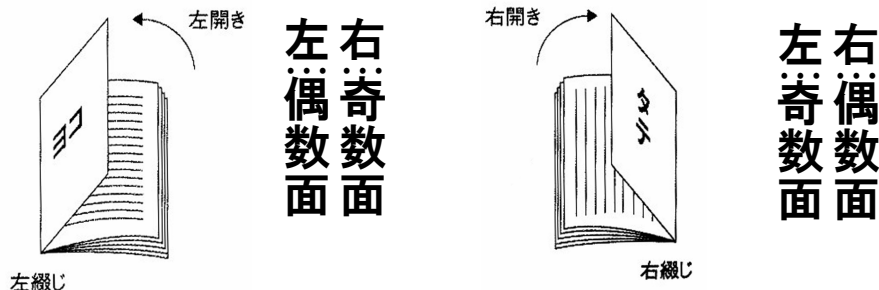
※東日仕様・降版条件にするには、上記の組版データ(紙面データ)を東日仕様の面付け台紙(インデザイン)に貼り付けてからPDFを書き出すことで、降版条件の仕様になります。 → 次ページ参照

## 面付け配置について

- 東日仕様・降版条件のインデザイン台紙に、組版データ(紙面データ)を面付けをした後、PDF書き出しして下さい。

組版データ(紙面データ)は、全体寸法に対してセンター配置をお願いします。

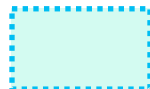
- ・タブロイドの面付け対向面のルールは、下記が基本となります。
- ・タブロイドの面数組合せは、ページ数により変動します。
- ・見開き面及び、疑似見開き面に関しては、別途相談して下さい。



## 面付け台紙サイズ

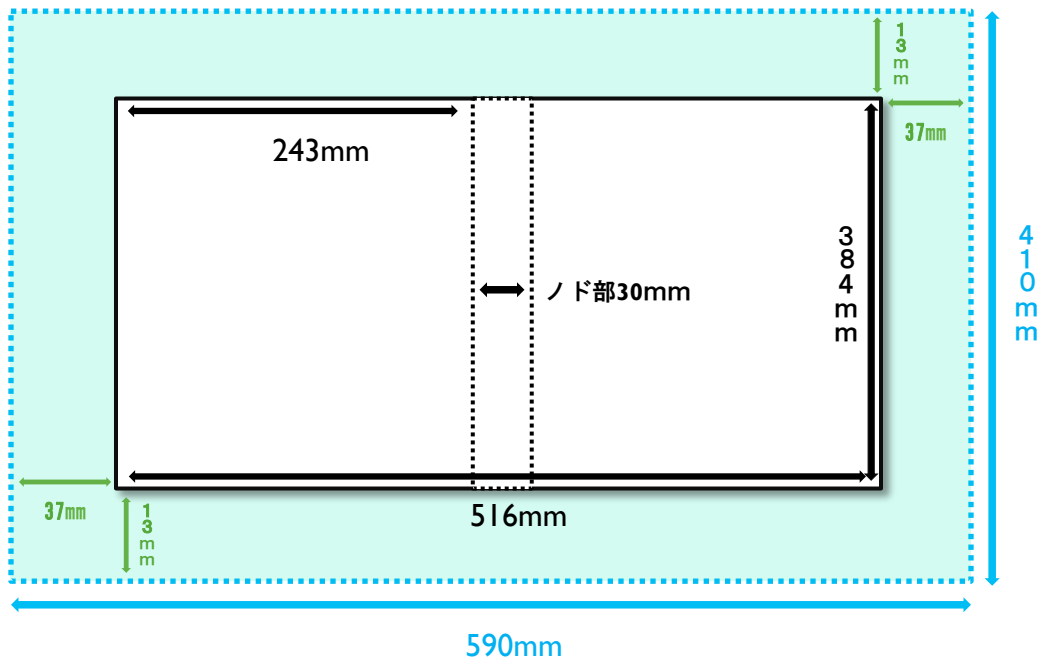


… 紙面サイズ (欄外を含んだ新聞原寸)



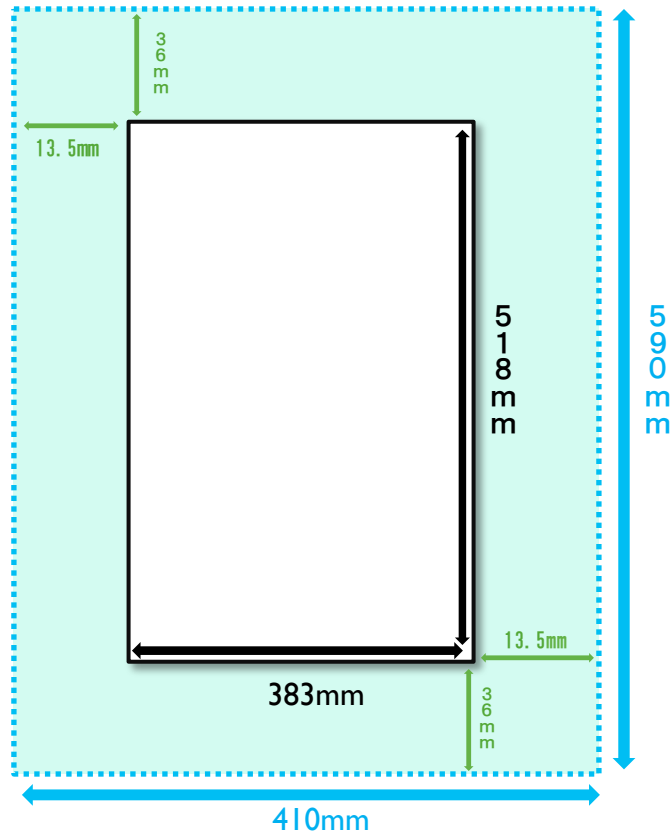
… PDF書き出し後の全体寸法 (東日仕様・降版条件)

### ◆タブロイド

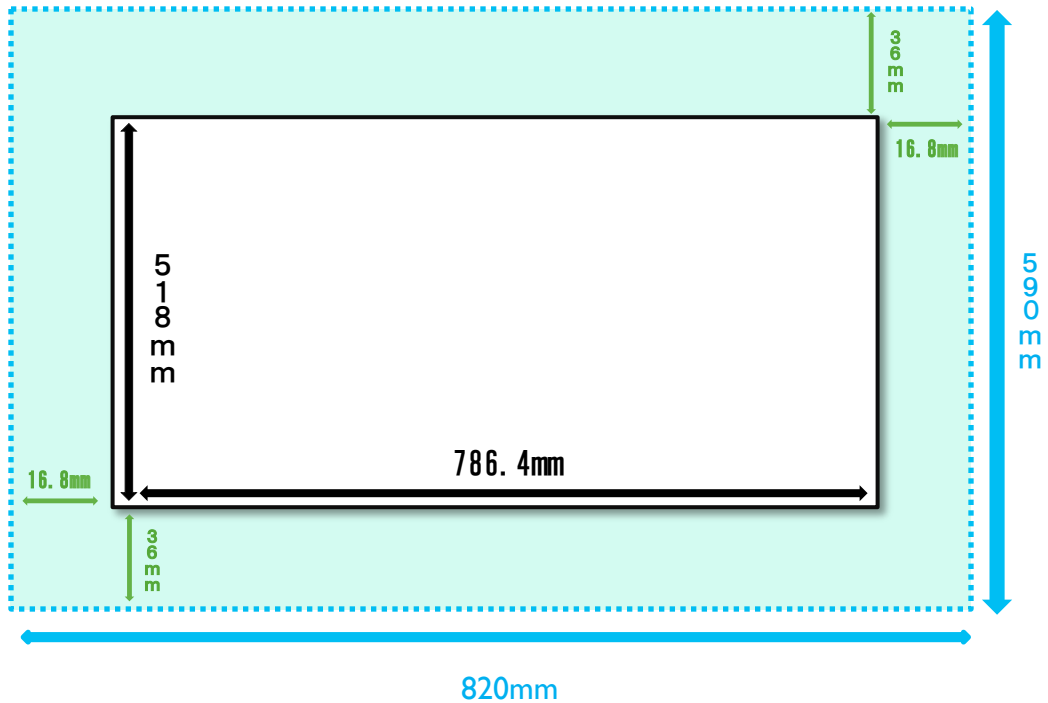


※タブロイドは、PDF書き出しすると、左90°回転した状態で書き出されます。  
(サイズ：天地590mm 左右410mmの縦長で書き出されます)

# ◆ブランケット



# ◆ブランケット2連版（見開き、ノド含め）



# PDF データ書き出し注意点

## 【PDF/X-1 a】

- 不要なオブジェクト（余白や孤立点など）はすべて削除して下さい
- PDFは、1ファイル1ページで作成して下さい
- 特色は、原則使用しないで下さい
- 透明効果は「分割・統合」されるため、オブジェクトや色が変換されます
- 「PDF/X-1 a」に準拠したデータ書き出しを推奨します。

### データの保存に関して

#### <Illustrator/Indesign → PDF>

PDFプリセットをPDF/X-1a形式にして保存して下さい。 ※PDF保存画面①を参照

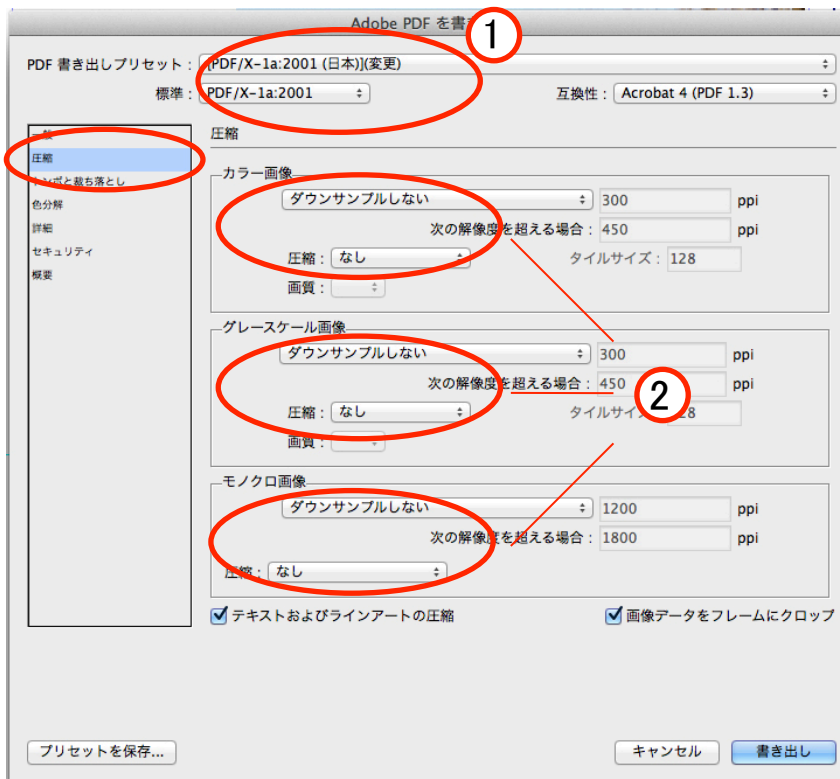
**<注>Quark、エディアン等の組版ソフトを使用している場合は別途ご相談下さい。**

#### ●ダウンサンプルについて ※PDF保存画面②を参照

弊社ではダウンサンプルを推奨していません。下図のように対象となる画像が劣化しないようにダウンサンプルしないを選択してください。

【ダウンサンプルを有効にした場合】多値画像は450ppi以上が300ppiに、2値画像は1800dpi以上が1200dpiにダウンサンプルされ、画質が粗くなる場合があります。

### PDF保存画面



# PDFデータ書き出し注意点

## 【PDF/X-4】

- 不要なオブジェクト（余白や孤立点など）はすべて削除して下さい
- PDFは、1ファイル1ページで作成して下さい
- 特色は、原則使用しないで下さい
- 透明効果がサポートされます
- 「PDF/X-4」に準拠したデータ書き出しを推奨します。

### データの保存に関して

#### <Illustrator/Indesign → PDF>

PDFプリセットをPDF/X-4形式にして保存して下さい。 ※PDF保存画面①を参照

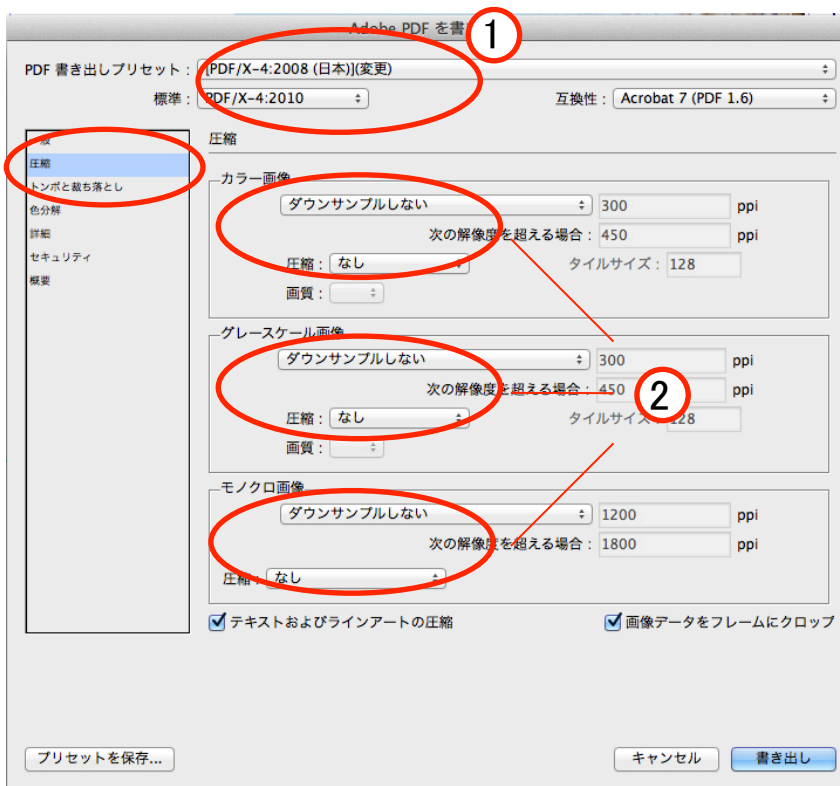
**<注>Quark、エディアン等の組版ソフトを使用している場合は別途ご相談下さい。**

#### ●ダウンサンプルについて ※PDF保存画面②を参照

弊社ではダウンサンプルを推奨していません。下図のように対象となる画像が劣化しないようにダウンサンプルしないを選択してください。

【ダウンサンプルを有効にした場合】多値画像は450ppi以上が300ppiに、2値画像は1800dpi以上が1200dpiにダウンサンプルされ、画質が粗くなる場合があります。

## PDF保存画面



# 制作局データ入稿仕様書

Vol.1(初版)	平成25年7月1日
Vol.2(改訂1版)	平成27年3月1日
Vol.3(改訂2版)	平成28年4月1日
Vol.3__1(改訂3版)	平成29年5月1日
Vol.4(改訂4版)	2019年3月1日

